

教育目標
かしこく 豊かで 元気な子

学校・児童の実態

<学校>
令和元年度の図書館
○蔵書7885冊
○児童の一人平均貸出冊数180冊
○不明図書冊数1冊（H29から）

<児童>
○市内でもトップクラスの貸出冊数で、休み時間、授業中ともに真剣な態度で読書を楽しんでいる。

重点目標
進んで考え 解決する子ども

図書館教育の目標

- 読書への興味を高めることを通して読書習慣を育て、豊かな心を育む。
- 図書を活用して疑問を自力で解決しようとする意欲と情報活用能力を育成する。
- 図書館を利用するための基本的な知識、技能、態度を身につける。

保護者・地域・他機関との連携

- 学校図書館支援センター等と学校図書館の効果的な活用について連携して取り組んでいる。
- 読み聞かせボランティアと連携しながら、子どもたちに楽しく本の魅力を紹介している。

図書館教育の重点

低学年
○楽しんで図書や読書に親しむ。
○図書館利用の約束を守る。

中学年
○幅広く読書をする。
○自分の課題を解決するために、図鑑や事典などの図書資料を活用する。

高学年
○複数の本や資料を比べて読み、自分の考えを広げたり深めたりする。
○必要な情報を得るための方法を選び、資料活用をする。

図書館利用に関する基本的な知識・技能		
低学年部	中学年部	高学年部
1年 図書館の使い方・本の扱い方	3年 本の分類・配架・ラベル	5年 目次・索引
2年 図書館の使い方・本の仲間（十進分類法）について	4年 配架・目録カード	6年 調べ学習のための資料の種類を紹介

各教科	道徳	特別活動	生活指導	総合的な学習の時間	家庭・地域における指導
<ul style="list-style-type: none"> ・情報活用能力（情報活用の実践力）指導体系表を通して、情報の収集、活用、解釈ができるようにする。 ・学校図書館活用年間計画を活用して、各教科に必要な資料を活用する。 ・図書による調べ方の技能を高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して道徳的心情を培い、豊かな人間性を養うことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用指導を通して、図書の扱い方や図書館の約束、仕組み、調べ方についての知識を得て、実践できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせや集団読書等での話題や感想の共有を通して、共感的態度を高めることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を追求するために図書資料などを活用することを通して、「情報の収集、活用、まとめ、発表」ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館便りを通して、読書のよさを知らせ、家庭での読書習慣の定着を促すことができるようにする。